

ひびき天然ガス発電所(仮称)設置計画に係る計画段階環境配慮書に対する環境の保全の見地からの意見

1 配慮書に対する指摘事項

(1) 煙突の高さに関する複数案設定

煙突高さについて、複数案を設定した詳細な経緯及び高さの設定根拠が配慮書に記載されていないため、方法書において記載すること。

(2) 冷却方式

今回の発電所設置計画では、火力発電所で一般的に採用されている海水冷却方式ではなく、淡水循環冷却方式を採用しているが、当該方式を採用した経緯を方法書に記載すること。

2 事業計画で充実すべき検討事項

(1) 排水

配慮書において、排水の量は示されているが、水質としては水質汚濁防止法の基準値が記載されているだけであり、排水口の位置も明らかでない。このため周辺海域への環境影響が十分に回避・低減されるよう最適な排水処理施設を選定し、水質を明確にするとともに、排水口の位置等を検討し、事業計画として方法書に記載すること。

(2) 冷却塔からの水蒸気白煙

冷却塔からの水蒸気白煙による景観への影響に対する回避・低減策を検討し、エネルギーの使用効率とのバランスに配慮した上で、必要に応じて、事業計画に反映するとともに、方法書に記載すること。

3 方法書作成に向けた留意事項

(1) 他の事業所からの複合影響の予測

事業実施想定区域周辺では、他にも火力発電所等の立地が複数検討されているため、他の事業所との複合影響の予測が可能な手法の採用について検討すること。

(2) 海域への環境影響

「水質」、「動物」、「植物」、「生態系」の各環境要素は計画段階配慮事項に選定されていないが、海域への環境影響が予想されることから、当該要素を環境影響評価項目に選定することについて検討すること。